

平成16年度県立高等学校入学者選抜学力検査  
**国 語**

**ねらい、出典、出題の内容、今後の学習指導のために**

**一 言語事項に関する問題**

【ねらい】

中学校までに学習した漢字や敬語を中心とした言語事項についての理解度、定着度をみる問題です。

【出題の内容】

漢字の書き取り及び尊敬語・謙譲語に関する問題です。

【今後の学習指導のために】

漢字をはじめとして、語彙を豊かにすることは国語の基本です。また敬語についての理解を深め、日常生活の中で適切に使えるような指導が求められます。

**二 韻文・俳句**

【ねらい】

俳句に対する理解と鑑賞力をみる問題です。今年度は、「花」を題材とした作品からの出題です。

【作者】A 富安風生 B 成田千空 C 渡辺水巴 D 山口誓子 E 水原秋桜子 F 高浜虚子

【出題の内容】

- 1 句にこめられた作者の思いや情景を読み取る問題です。
- 2 表現技法（体言止め）及び句の読解を確認する問題です。
- 3 俳句の主題を、鑑賞文を読み解くことにより把握する問題です。

【今後の学習指導のために】

韻文の指導の際には、言葉に込められたイメージを読み味わい、作者の思いを読み取る力を養うことが大切です。

**三 古典**

【ねらい】

基本的な漢文の書き下し文の読解を通じて、古典に対する興味・関心と初歩的な読解力をみる問題です。

【出典】「蒙求」

【出題の内容】

- 1 古典の基礎である歴史的仮名遣いの問題です。
- 2 登場人物の会話部分の内容を理解しているかを確認する問題です。
- 3 登場人物の心情を理解し、主題を正しく読み取ることができているかを確認する問題です。

【今後の学習指導のために】

古典に親しむ態度を育て、音読などをおして文章の内容や優れた表現を味わうことができるようにすることが大切です。

**四 文学的文章**

【ねらい】

文学的文章の読解をとおして文章を的確に読み取る力や表現力などをみる問題です。

【出典】「五月の道しるべ」 佐藤多佳子

【出題の内容】

- 1 漢字の読みに関する問題です。
- 2 登場人物の心情を正しく読み取ることができたかをみる問題です。
- 3 場面の展開を踏まえて登場人物の心情を正しく読み取り、字数内にまとめる問題です。
- 4 文章表現の特徴を理解できたかを確認する問題です。
- 5 最後の場面での主人公の心情の変化を読み取る問題です。

【今後の学習指導のために】

文学的文章の読解の指導では、情景や人物の描写などから小説の主題を捉える力を育てることが求められます。特に、登場人物の言葉や態度、表情、行動に留意して、その心情の変化を的確に把握させることが大切です。また、こうした読解力を育てるためには、読書に親しむ態度を育てる指導が必要です。

## 五 説明的文章

【ねらい】

説明的文章の読解を通じて、論理的な思考力・読解力をみるとともに、総合的な国語力をみるための問題です。

【出典】『『わかる』とはどういうことか』 山鳥 重

【出題の内容】

- 1 漢字の読みに関する問題です。
- 2 助動詞の働きを確認する言語事項に関する問題です。
- 3 第一～第三段落の内容の把握と段落構成についての問題です。
- 4 要旨の把握に結びつくキーセンテンスが正しくとらえられているかをみる問題です。
- 5 第五・第六段落の構成についての問題です。
- 6 文章全体の要旨を、字数を指定してまとめる問題です。

【今後の学習指導のために】

説明的文章を読解するには、論理の展開を的確にとらえ、文章の全体像を把握する力をつけることが大切です。同時に、読み取った内容を的確に表現する力も求められており、「読むこと」と「書くこと」の一体となった指導が望まれます。

## 六 作文

【ねらい】

目的や場面に応じて文章で表現できる力をみる問題です。

【出題の内容】

学校新聞に「自分の中学校生活を振り返って、下級生へのアドバイスを書く」という課題作文です。

【今後の学習指導のために】

目的や場面に応じて効果的な文章を書くことのできる力を付けるためには、日頃の授業の中で様々な形態の文章を書く機会を数多く設け、加えて論理的に書かせる指導が大切です。

## ま と め

国語を適切に表現し正確に理解する能力の育成のためには、まず基礎的・基本的事項の確実な習得が求められます。そして「読む」「書く」「話す・聞く」といった各領域相互の関連を図り、それぞれの能力が偏りなく育成できるように、バランスよく、計画的に指導することが大切です。

### 正解と正答率表

( ) 内は部分正答率

問題	正 解		正答率 (%)	
	大	小		
一	1	(1)	預(ける)	62.4
		(2)	務(める)	53.8
		(3)	清 潔	68.3
		(4)	看 護	66.1
	2	A	おっしゃっ(て)	82.6
		B	申し(て)	60.5
二	1	B	95.1	
	2	D	83.8	
	3	(1)	まとふ	51.4
(2)		ア	44.0	
三	1	いわく	96.7	
	2		大 船	95.1
			物をはかって	79.0
	3	ウ	86.4	
四	1	A	あざ(やかな)	98.2
		B	とうめい	98.5
	2	エ	81.3	
	3	悪いのは進だと考えていたのに、母が進の味方について私を怒ったことがおもしろくなかったから。		19.6 (58.2)

問題	正 解		正答率 (%)	
	大	小		
四	4	イ	51.8	
	5	(1)	悪いのは自分である	81.3
		(2)	ウ	86.0
	五	1	A	しゃだん
B			おろ(かな)	80.5
2		イ	72.6	
3			内からの仕掛けと周囲からの情報	61.2
			正しく見当をつけるということ	86.5
4		オ	77.7	
5	エ	65.9		
六	6	問題を処理するときには、部分的な、狭い知識だけで判断するのではなく、大きな立場から全体像をつかむように正しく見当をつけることが大切である。		13.2 (54.9)
		与えられた条件のもとで、述べられていること。		28.3 (62.8)